②学習清晰に関する現実と異問を書きます。 ②構充・発展的な学習指導の計画を書きます。 ②構充・発展的な学習指導の計画を書きます。 ③ 4月の全国学別調査の結果では、すべての項目で東京都の平均よりも上回った。特に「読むこと」の平均7条半はり割と高い数値な力、これまで用途に取り組んできた学習の成果が表れた。「毒くこと」の力も8条半についてきているが、全体の中では7割に届いていたいので今後の課題とする。 ② 授業の中に 7対話)を収り入れ、振起や判確にして自今の考えをもち、自分の生活経験や世習率項を基にした理由付けを行いながら、妻くことを含め自分の考えを表現できるようにする学習を継続していく。 ③ 物学習や朝武寺の時間を確保することによって、多くの語彙や表現に触れる機会を増やし、多様な表現ができるようにする。横す、光光線的な学習を表して、ペーシックドリルを活用する。 接定の中に3人組の対話を取り入れた意思、全体交流の展が得えてきた。国面接受かで、数形容を連り付したなら、また全体交流をの興味・関心が表し、含金なら上にし、考とを中籍を建して、ペーシックドリルを指用する。 を変の中に3人組の対話を取り入れた意味、全体交流の展が得えてきた。国面接受かで、数形容を連り行動であるようによっる。横立、光色体交流をの興味・関心が高く、食液的に今智に取り組んだ。になった。また全体交流をの関連を学習に取り組んだ。いるし、多を管理を連接したいく。 ② 建立を変の中に多人組の対話を取り入れてまためる歴史新聞作りを取り入れている。 申の言葉の音楽を実施を開催付けて起えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連を継続について思考する力は身に関係するが自身を推接している。 ② 学習問題に適した資料表別や表示の仕方を工大する。また、音科を比較したり問題が付たりつしたが、事の行表を変かな必ず智能がを積極的と模案に取り入れた結果、資料を比較したり間違が付けたからが開発する影響が表しまりままれてままままままままままままままままままままままままままままままままま
□ 4月の全国学り調査の計画を書きます。 ② 4月の全国学り調査の結果では、すべての項目で東京都の平均よりも上回った。特に「読むこと」の平均1
□ 4月の全国学力療法の結果では、十一ての項目で東京館の平均よりも上回った。特に「読むこと」の平均の常率は19割と高い数値を示し、これまで地道に取り組んできた学習の成果が表れた。「書くこと」の力も常実についてきているが、全体の中では7割に届いていたいかいので今後の調整とする。「表しいてきているが、全体の中では7割に届いていたいかいので今後の調整とする。「表しいできているが、全体の中では7割に届いていたいかいので今後の調整とする。「表しいできた。「表生中に「対対」を取り入れ、根限を明確にして自分の考えを表現できるようにする「発き金融能していく」の「教学習や朝読書の時間を確保することによって、多くの影像や表現に後れる機会を増やし、多様な表現が、さるようにする。「輸売・発展的な学習指導として、ペーシックドリルを活用する。「技楽の中に3人和の対話を成り入れた需求。全体交流の際口口をもって見えを述べる児童の姿が見られるようになった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が境えてきた。国語技芸外でも、別語や話義を通して、大きを再構築する児童が境えてきた。国語技芸外でも、別語や話義を増していた。「表と専構築する児童が境えてきた。国語技芸外でも、別語や話義を増していた。また全体交流を通して、表えを再構築する児童が境えてきた。「国語技芸外でも、別語や話義を増していた。」「想」学習の理解・関心が高く、経験的に学習に取り組んでいる。しかし、各種資料を効果的に関しられるいと、「表しまり関連付けたりづけたりしたがら、「選史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な経緯についてき返考するの場合活が会習るが、制度が大きを表しまるの場合が表別の表すを表しまった。「表の資料を扱み取る学習活動を展開的に検索に取り入れた結果、資料を比較したり関連付けたから学習は適かでいく。「学習する歴史の流れ、時代の流れの発生操上に自身の生活があるとと実験を建立ることに傾れていった。」「対しているの資料を表しましている」を実施を建立ることに関係していては、選覧を発生された異態に対して、大きなの場合を取り出たが、対しているとを表しまる。「対しなの資料を表しましている」を表しまれましていままた。「自分の表をとならとながられましている。」「表述する兄弟のでは、表述のでは、表述のでは、表述のでは、表述のでは、表述のでは、表述をと関での対象のを関するとともに、現面にの取りまたが見かしまりままた。「発きを行ったが、知識の定者が出た、としているとの表がまたしたが、知識の定者をでしたが、実施といると、変しまのでは、また、実施のとめた、実施と手には、実施をと聞としていては、とのでのより、実施としていく、また、実施のとめた、実施と手に対して表が、とのでとから、実施と手に対している。とのとから、実施と手に対している。とのとから、実施を付きたいのといったのに、実施と中の主持をを使用でいると、また、実施を行っためため、実施が出ると、実施としたり、対象を対象としたのと表がは、対象の時間を登録することもに、製象、実験器具に配しる機会を押りたとしたり、実施といったのに表がはまたが、実施といる。「表述を表したり、実施といる」のために、実施となら、実施といる。「表述を表しましまりまたり、実施といる。「表述する兄弟のではないましたり、実施といるといましたり、表述を表しましまりませないましまります。「表述ないましまりませないましまります。「表述ないましまり、表述ないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないませないましまりませないましまりませないましまりませないませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないましまりませないませないませないませないませないませないませないませないませないませない
##
 実についてきているが、全体の中では7割に届いていないので今後の課題とする。 ② 授業の中に「対話」を取り入れ、摂販を明確にして自分の考えをもち、自分の生活経験や既習事項を誌にした自分の考えをもち、自分の生活経験や既習事項を誌にした自分の考えをもち、自分の生活経験や既習事項を誌にした自分の考えを表現できるようにする等警を継続していく。 ③ 衛学習や朝護寺の時間を確保することによって、多くの影像や表現に触れる機会を埋やし、多様な表現ができるようにする。また主体を異なの流を取り入れた結果、全体交流の際に自信をもって意見を述べる児童の姿が見られるようになった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が優様していく。 ① 歴史学習への興味・関心が高く、養慈のに学習に取り組んでいる。しかし、各種資料を効果的に活用し、考めで書きる財産がは受けて限えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続について思考を結束と関係が自然のできたの仕分を工失する。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続について思考するが自然に使いていない。 ② 学習問題に選した管料を扱来がしている。学者を歴史の世界を教史的で持ちまかけましていないので、今後も特定関係する新聞に乗でユュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な雑誌について思考するがよりではないら学者を選抜している。学者を歴用し、自分自身の生活と学習の歴史的な雑誌について思えな事を持ちないと言葉係がしている。中の方を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な雑誌について思まれる言葉を持ている。学者を表しないる学者を表していまりまれては、また、歴史と自分自身の生活と学習の歴史的な雑誌について思まれる言葉を持ていると言葉を表していまた。とに関れていった。知識として定着するようた取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話を関生していると学と表しまれて経過することに関れていった。知識としてで着するようた取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話を理せられて経過することに関れていった。と表しまでは関立しているであるともに、中での大きを表はおしているのである。実施を生またいのであると表しているのである。また、世界を必然とさせる。別なのであるとまたのであるとまた。とれて関連でないでの問題を設けることで、復習を行う、また、民業の世の人教を選出での対議の時間を設けることで、復習を行う、また、民業の中で少人数や集団での対議の時間を登録することで、復習を行った。また、民業の中の人教を選出での対議の時間を登録することで、復習を行った。また、現象の中の人教や集団での対議の時間を登録することで、復習を行ったが、知識の定着さていたいので、今後も繰り返し行っている必要は対して考えられるよりによりましまが表しましましましましましましましましましましましましましましましましまし
 提業の中に「対話」を取り入れ、根拠を明確にして自分の考えをもち、自分の生活経験や既習事項を基にした理由付けを行いながら、書くことを含め自分の考えを表現できるようにする学習を推議していく。 朝学習や朝諸書の時間を確保することによって、多くの記彙や表現に触れる機会を増やし、多様な表現ができるようにする。 補充・発展的な学習指導として、ペーシックドリルを活用する。 検察の中に3人組の対話を取り入れた様果、全体交流の際に自信をもって意見を述べる厚重の姿が見られるとどになった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が増えてきた。 国部投業ペでも、熱語や語彙を増やする場所に取り組んだ。 定着に関人差が大きいので、今後も指導を確議していく。 の 歴史学の興味・問心が高く、意が的に学習になり組んだのとおきになった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が増えてきた。 国部投業ペでも、熱語や語彙を増やすり、 の 歴史学の人職・問心が高く、意が的に学習になり取り入れていく。 の 歴史を写った関係がで開発する場所に関り入れてまとめる程度が開発したり関連付けたりづけたりしながしていると、 できるを表現を言動や資料を効果がに取り入れてまとめる程度がありましたり間違付けたりづけたりしながら、
た難由付けを行いながら、書くことを含め自分の考えを表現できるようにする等容を継続していく。
た難由付けを行いながら、書くことを含め自分の考えを表現できるようにする等容を継続していく。
きるようにする。補充・発展的な学習指導として、ペーシックドリルを活用する。授業の中に3人組の対話を取り入れた結果、全体交流の際に目信をもって意見を述べる児童の姿が見られるようになった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が増えてきた。国語検案外でも、熱語や語彙を増やり、機関に取り組んだ。定省に個人差が大きいので、今後も指導を継続していく。 ① 歴史・野舎で意味を関連付けて相えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続性について思考する力は身に付いていない。 ② 学習問題に適した参揮程中へ機不の仕方を工夫する。また、要料を比較したり関連付けたりづけたりしながら、音波の取る活動や管料を効果的に取り入れてまとめる歴史新聞作りを取り入れていく。 ③ 歴史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続について思慮付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの競技機上に自身の生活があるということを実感させる。 後数の資料を発表していてた。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的が誘動や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学方面産結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「虚と測定」では式から面積の決め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正常事が扱い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いての平均企業や事が扱い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、児童間立の教え合いや意見の交流を重視していく。。また、投資の中の人数や集団での対議の時間を意識していく。また、理察がインシックドリル・ジョンドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までに対することに実施でついないので、今後年間を対することで、復習を行う。ことに、現底が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ペーシックドリルを活用して復習を行ったが、加強の定着までにより、実験器具の機能を事料して操作したりする学習指導を光表されるようにしたり、実験器具の機能を事料して操作したりする学習指導を光表されるようにしたり、実験器具の機能を事料して操作したりする学習指導を光表される。これ、実験、結果、考察の溢りを意識をとしたり、理解を発生のように関わっているかを意識させ、どんな日離を指するとともに、教の中の身体のを変しを持たしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな日離を確実と見いけられるようにとな、実験がは歌を確実とでについて言欲的に取り組めると見いが通知を確実とされて、また、大変を作った理解へつなげられるよう、実験を経にしていいたる。美術とのよりに指導をしていく。第20年の主がは、発しの主がは、対していけるよう情報でも、実験が対しないの言葉を持ていく、また、実施が増えた。現底が増えた。ともに、身の回りの自然現象とでいよりに関するときないの言葉を持ていく、またりの言葉を持ているの言葉を持ている。とは、表のでは、またりのでは、まれりのでは、またりのでは、またりのでは、まれりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりの
接業の中に3人組の対話を取り入れた結果、全体交流の際に自信をもって意見を述べる児童の姿が見られるようになった。また全体交流を通して、考えを同構築する児童が増えてきた。国語投業外でも、熱語や語彙を増や寸になった。また全体交流を通して、考えを同構築する児童が増えてきた。国語投業外でも、熱語や語彙を増や寸線圏に取り組んだ。定著に個人差が大きいので、今後も指導を継続していく。 ① 歴史学習への興味・関心が満く、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、各種資料を効果的に活用し、事象の背景や意味を関連付けて捉えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続性について思考する力は身に付いていない。 ② 学習問題に適した資料選択や標示の仕方を工夫する。また、魔科を比較したり関連付けたりづけたりしなから読みなる活動や資料を効果的に取り入れてまとめる歴史新聞作っな取り入れていく。 ③ 歴史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続について修連付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長線上に自身の生活があるということを実施させる。 検数の資料を読み取る学習活動を増極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。別の時間などに時事的な話館や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係についても通が増えた。 ② 月月に行われた全国学力調金結果では、ディての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「上を測定」では式から画館の水が力を解していまからの場合を担ったり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を表す直点的に行うとももに、りまでも意識的に行ってきた、に考える述べさせる月等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。。また、授業の中で少人数や集団での計議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに優れてきた、提び中のよりなの主義とは、授業の上での大の表現を担けて、会したのように上で、会ともに、現立には、授業の上での大の表現を通りに対しまりまで、で、通知の定義を行ったが、知識の定着主なにはまだ室っていないので、今後も幾りに使用したりする学習指導を充ませる。実験結果の機能を理解して機作したりする学習指導を充ました。また、実験器具に触れる様の定者が対したり、実験部の定義とどのように指導を行ったが、必要を担めたい、実験部ので着されるよりにして、多年を作った理解へをものに、実験解析を必要を指でしていく、のののとのとの実験をといないと、実験を作った理解へをつかけられるように上で、数の中の具体例を学げられるように上で、数の中の自体のを対している。よりに対すをといて、表別の主がしている。と述されるよりにしたり、現場がはではないないましたり、実験がはないないましたり、単位とはないないました。また、実施を使用での対しないました。また、対しないました。また、対しないました。また、対しないました。と述されるといました。とは、対しないました。と述されるといました。といました。といました。と述されるといました。といましため、といました。といました。といましため、といましため、といましため、といましため、といましため、といました。といましため、といまり、といましため、といまり、といましため、といましため、といましため、といましため、といましため、といましため、といましため、といまり、といましため、といまり、といましため、といまり、とい
様 証 になった。また全体交流を通して、考えを再構築する児童が増えてきた。国語授業外でも、熟語や語彙を増やす 課題に取り組んだ。定着に個人差が大きいので、今後も指導を継続していたし、各種資料を効果的に活用し、事象の背景や意味を関連付けて提えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や鍵熱性にていて見まする力は良た付いていない。
 課題に取り組んだ。定著に個人差が大きいので、今後も指導を継続していく。 ① 歴史学習への興味・関心が高く、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、各種資料を効果的に活用し、現象の背景や意味を関連付けて捉えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続性にいて思考する力は身に付いていない。 ② 学習問題に適した資料達取や提示の仕方を工夫する。また、資料を比較したり関連付けたりづけたりしながら読が入取る活動や資料を効果的に取り入れてまとめる歴史新開作りを取り入れていく。 ③ 歴史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続については連付けたがら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長線上に自身の生活があるということを実感させる。 複数の資料を読み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、新象を捉えることに信れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに専申的の活題や歴史的た内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の型均点を上回った。しかし、その中の「基を過失・団を関係」では大から面積の求め力を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きを基底、求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理場的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べきせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中や人数や集団での討議の時間を確保するととも、「提示された課題に対して、根拠を開催するととに、児童間への教え会かどの主意、提出して、実施の時間を確保することで、復習を行ったが、知識の定着まで、投棄が増えた。理解が不十分な児童には、授業外に側別指導の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに関本できた。と、投棄の中で人教等提出であれる場合では、実施を活用する学習活動を重視するととに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたりまながらいまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり
 ① 歴史学習への興味・関心が高く、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、各種資料を効果的に活用し、事象の背景や意味を関連付けて捉えられる児童は少ない。また、歴史と自分自身の生活との関連や継続機能にいいて思考するのはまた付いていない。 ② 学習問題に適した資料運投や提示の仕方を工夫する。また、資料を比較したり関連付けたりづけたりしなから、読み取る活動や資料を効果的に取り入れてまとめる歴史新聞作りを取り入れていく。 ③ 歴史・政治学に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続については連付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長機上に自身の生活があるということを実感させる。 複数の受料を読み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「自と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正等率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させれた。表現の定者が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現も用いて論理的である。ともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ペーシックドリル、ワークシット等を活用し、学習した内容をしつかりと定着させていく。また、習家が不一方が兄童には、授業外に関節を意味していく。 ② 東京ペーシックドリル、ワークシット等を活用し、学習した内容をしつかりと定着させていく。また、習家が不一方が兄童には、授業外と、理解でありまからでで、復習を行ったが、知識の定者を図った。また、理解であったの異様に対していないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増なしたす、実験器異を行ったとめいまり組めるように、教育を実践し、自分や変速の予想、計画、実験、結果、考察の、実験を得所を決している。身の自りの自然現象とどのように関連を上でいて、のために、課題が必ずらよりに関かているかを意識させながら、実験が法へ課題に取り組めるように、教育を定していて、のために、課題が必ずるとといない場面で科学の力が活かされているが提えられるように、実際、実験の場合は実に対していて、のために、実験を得かながら、大調を企業を得かたませていて、のために、実験を得かした。これを考めないまして、表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表
##

 学習問題に適した資料選択や提示の仕方を工夫する。また、資料を比較したり関連付けたりづけたりしながら能み取る活動や資料を効果的に取り入れてまとめる歴史期間作りを取り入れていく。 郷史・政治等に限係する期間記事やニュース字を活用し、自分自身の生活があるということを実感させる。 複数の資料を読み取る学習活動を積極的に投業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「虚と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での対議の時間を確保するととに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 東京ペーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習家が不十分な児童には、授業外に側別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図ったまた、授業の中で少人数や集団での討議の時間を診けることで、論理的に表現することに慣れてきた足が増えた。理解がみた、実験が排えを理らといて、、習り返し行っている必要がある。 重確が考えた。理解が不一分な児童に対して東京ペーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っている必要がある。 重確が事えた。理解が未来をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びでけて考えられるようにすることが課題である。で、実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。で、実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるように実施で制め、と関係と呼び、表別を指導を力といる。と使いと関係と対しているかを意識させながら、実施を伴った理解になりないのよりに関連付けながら、一つ一の事象を身近なものとして実感と伴った理解になりないのよりに関連付けながら、一つ一の事象を身近なものとして実感とでいけられるよう、実施といる。との上のより指導するととに、身の回りの自然現象とどのよう指導する。とが書がある。との上のよりに関するともに、身の回りの自然現象とどのように関するといの定すないのよりに関するともに関係しているのよりに関するといのよりに関するといるのでは対しているのでは、また、実施といるのでは、また、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、またり、実施といるのでは、またり、実施といるのでは、またり、実施といのでは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり
 ○ 器決取込活動や資料を効果的に取り入れてまとめる歴史新聞作りを取り入れていく。 ③ 歴史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続についてほ連付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長線上に自身の生活があるということを実感させる。 複数の資料を認み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の上と測定」では式から面積の取め方を解取してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた。自分の考えを数学的な表現を用してでの来め方の説明を記述したり、地位量当たりの大きさを基にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、投業の中で少人数や集団所の討議の時間を設けることで、復習を行う。また、投業の中で少人数や集団の計議を時間を譲けることで、適理的に正表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 事価が、基本の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大
② 歴史・政治等に関係する新聞記事やニュース等を活用し、自分自身の生活と学習の歴史的な継続については連付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長線上に自身の生活があるということを実感させる。 複数の資料を読み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「基と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の食習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討籤の時間を確保するともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を記けることで、復習を行う。とにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、復習を行うたが、知識の定着まてにはま定至っていないので、今後も繰り返し行っていく。必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増てしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。のために、課題がみたり、実験でおったといない。今の直見の自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実際・できた、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、教付や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実上呼ば入る、一つ一の事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実上呼えた、知識を確実に身に行けられるように指導してきた。また、実施を伴った理解を確実としていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一のの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。 「実験方法や課題を確実上呼えたの遺伝を発している。実験が法や課題を確実と呼ば入が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を超材とした研究授業を行ったことが終しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり適しませない方に表しれるようによりないませない方によりませない方に対しませない方に表しませない方に表しましていているが定されているが定しない方に対しませない方に対しませない方に対しませない方に対しませない方に対しませない方に対しませない方に表しませない方は、ませない方に表しまれている。
連付けながら学習を進めていく。学習する歴史の流れ、時代の流れの延長線上に自身の生活があるということを実感させる。 複数の資料を読み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「長と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠も明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ペーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしつかりと定着させていく。また、習者が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を意識的に確保することで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。実施、増えた、理解が不十分な児童に対して東京ペーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具を経っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ② 実験結果をとしていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の子根、計画、実験、結果、考察の流を行っていた。第2年に大理解したのよりに指導を作実されるように指導とていいく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一の事象を考述なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押えな、知識を確実に押えな、知識を確実に押える。実践といてきな的として実感していけるように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かるれているか捉えられるように、といて、意味の記すないまれているかを意識させながら、実現を作りないまないました。まれているように表すないまないますないまないまれている。まれているないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな
をを実感させる。 複数の資料を読み取る学習活動を積極的に授業に取り入れた結果、資料を比較したり、関連付けたりしながら、事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的が話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「長と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確しして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしつかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増収したり、実験結果をもとに目常生活で起て多科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように関わているかを意識させながら、実見を件った理解になり組めるように指導をしていいく。 ③ 児童一人人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように関わているかを意識させながら、実現が課題を確実に押さえ、知識を確実に理るように指導をしていてある。表述ながも指導をセースの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実践方は例はのといて記述なが見なが考えためとして実施させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つつの事象を身近なものとして実感していけるように指導に対するときれるように指導していけるように対象に対しために表述ないまれないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな
検 証 事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な 話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「もと測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き締念行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ペーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきたり、実験の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきたり、実験の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきたり、実験の単立の大き、実施が増えた。理解が不分な児童に対して東京ペーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実施を作った理解につなげられるよう、実験や課題を確実に申えた。知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなずられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するともに、教材や教具を充実させていく。日常生活の見体研究を挙でいるように対しれるように指導してきた。また、実感を伴った理解にかなが言かないために表対では対してきた。また、実感を作った理解にかなが言かなら、実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に申える、知識を確実に身においる。ま述といよりに指するように、教材や教見を充実させていく。 「一学期に歌唱を確なして研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意知を確定する。表現の工夫について意欲的に取り組みる児童が考えられるように表する。まれている。ま
様 証 事象を捉えることに慣れていった。知識として定着するような取り組みが必要である。朝の時間などに時事的な 話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ② 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「重と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ペーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。とにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、も理解が不十分な児童に対して東京ペーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。とてはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。したり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流力しために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の心からめに、課題解決型の学習指導を直にいく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つつの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解に検
話題や歴史的な内容を取り上げることで、自分自身と社会生活の関係について意識する児童が増えた。 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「皇と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基に求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしつかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識、技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導もしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、といな場面で科学の力が活から、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身とともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かられているか捉えられるようにした。 1 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり重もいる。
 ① 4月に行われた全国学力調査結果では、すべての項目で東京都の平均点を上回った。しかし、その中の「量と測定」では式から面積の求め方を解釈してその求め方の説明を記述したり、単位量当たりの大きさを基は求めて判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 ② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、倫習を行う。とに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにまぎて至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増収したり、実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や大達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。9の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学のように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように、教材や教具を充実させている。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確定に対したのように表すしている。また、実験を伴った理解にないを通識を確定している。方に、教材や教具を充実させている。日常生活の中の具体例を挙げられるように、表現の正式を確定している。方に関わているように表現しているように表現しているように表現しているように表現しているように表現している。また、実験が表現を確定している。方に表現を使用しているように表現している。 実験方法や課題を確定しているように表現しているように表現している。 実験方法の表現を確定している。 実験方法の表現を確定している。 実験方法の表現を使用しているように表現している。 また、実験を持ているときないる。 また、実験を使用しているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい
東水の工判断したりする問題についての平均正答率が低い傾向がある。 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着まてにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実現を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解になが記述しているがよられるように指導してきた。また、実感を伴った理解になかなが記述とどれな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 位 一学期に歌唱を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解になが定が記述してきた。また、実験でよりなが多くともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。
② 知識の定着が確実でない部分の復習を授業で重点的に行うとともに、今までの授業でも意識的に行ってきた、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着まではまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実見を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるようにした。
た、「自分の考えを数学的な表現を用いて論理的に表現させる」、「提示された課題に対して、根拠を明確にして考えを述べさせる」等の取り組みを引き続き行い、授業の中で少人数や集団での討議の時間を確保するとともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習業が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一の事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解になっなが自己を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解になっなが自己を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるようにした。 本語の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一の事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように、表現の三大について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり、これないり、またの一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり、またの一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり、またの一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれないり、またの一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的に表れないり、またの一方でまた。
とともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習事が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた。足童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実見を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解にながられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているが捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
とともに、児童同士の教え合いや意見の交流を重視していく。 ② 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習事が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた。現金が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器果の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実見を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一の事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解に対いるがように表現の工会があるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているが捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
③ 東京ベーシックドリル、ワークシート等を活用し、学習した内容をしっかりと定着させていく。また、習完が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。
が不十分な児童には、授業外に個別指導の時間を設けることで、復習を行う。 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を押さえながら指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解にないがあるように表現していけるよう。実験が表別の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
様 証 課題であった図形やグラフについては、習熟度別の少人数指導で重点的に行うことにより、学力の定着を図った。また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた。児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
様 証 また、授業の中で少人数や集団での討議の時間を意識的に確保することで、論理的に表現することに慣れてきた。 理解が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実見を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解にかなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
 児童が増えた。理解が不十分な児童に対して東京ベーシックドリルを活用して復習を行ったが、知識の定着までにはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実見を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
にはまだ至っていないので、今後も繰り返し行っていく必要がある。 ① 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 ② 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実施を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解にないがられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない場面もいる。
 基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を重視するとともに、観察、実験器具に触れる機会を増やしたり、実験器具の機能を理解して操作したりする学習指導を充実させる。 実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
実験結果をもとに日常生活で起こる科学的な事象と結びつけて考えられるようにすることが課題である。そのために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。 実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
のために、課題解決型の学習指導計画を立案・実践し、自分や友達の予想、計画、実験、結果、考察の流れを押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実態を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。
 を押さえながら指導をしていく。身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させながら、実履を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ① 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
を伴った理解へとつなげられるように指導をしていく。 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。 実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
 ③ 児童一人一人が目的意識をもって実験や課題に取り組めるように、教材や教具を充実させていく。日常生活の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解につなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
の中の具体例を挙げ関連付けながら、一つ一つの事象を身近なものとして実感していけるよう指導する。 実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解に つなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
実験方法や課題を確実に押さえ、知識を確実に身に付けられるように指導してきた。また、実感を伴った理解に つなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
検 証 つなげられるよう、実験・観察・考察の時間を確保するとともに、身の回りの自然現象とどのように関わっているかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
るかを意識させ、どんな場面で科学の力が活かされているか捉えられるようにした。 ① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
① 一学期に歌唱を題材とした研究授業を行ったことから、表現の工夫について意欲的に取り組める児童が増えた。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
た。その一方でまだ意欲的に表現することが難しい児童もいる。技能が伴わないために意欲的になれない児童もいる。
子 集 _{童もいる。}
│
③ 歌リーダーの活動を5年生にも広げ、6年生が5年生に発声の方法を教えながら共に歌えるようにする。
周年行事で学校を代表し、記念歌を立派に歌った。意欲には個人差があるので、全体的に気持ちが高まるよう学
検 証 年で学び合った。歌リーダーは5年生に歌い方の基礎を伝え、5年生のよい手本となった。
① 意欲的な児童が多いが、技能面、発想面共に個人差が大きくでている。また、自分で考えて発展させたり、
さらに工夫したりということがみられない児童がいる。
② 既習の道具の使い方を復習しながら、制作を行う。高学年の児童が作品に繋げていけるような情報や資料を
出し、楽しんで制作できるよう教材の精選を行う。
③ 休み時間や放課後に少人数での指導を行い、制作に時間のかかる児童をサポートしていく。
しても本がむに応じ如と様子がロントラーとが、中田のロストとはったにから中田では、コン・2回げいか
検 証 とても意欲的に取り組む様子が見られる。ただ、時間の見通しを持てずに完成まで時間の使い方には課題が残っ

家庭	 ① 調理実習や掃除の実技など、意欲的に取り組んでいる。調理に関する作業については、安全に留意しながら 調理器具を正しく用いて実習することができたが、裁縫については個人差が大きい。日常生活に必要な技能 を学習しても、実生活で活用する機会をもつことが難しく、実践している児童は少ない。 ② 十分習得されていない技術については、間近で手本を見せるなど、示範しながら個別に指導する。裁縫については、作成の手順を掲示し、自分で確かめつつ製作できるようにさせる。また、友達同士で教え合う活動を授業の中に取り入れる。 ③ 学習した内容は、家庭でも実践させる。「家庭の感想」の欄を設け、保護者に関心をもってもらうとともに 声掛けもしてもらうようにする。
検証	課題であった裁縫については、作成手順などを示し自主的に活動できるようにした。また、個別に師範を見せたり、友達と教え合ったりすることで技術を習得できた。学んだ技術を定着させるため、長期休業中に家庭で取り組みの機会を設けた。授業で学んだことを発展させて取り組む児童が見られた。
体育	 ① 意欲的に取り組み、真面目な学習態度であるが、短距離走、水泳といった運動技能の習得について、個人差が大きい。運動の経験が少ない児童も多いので休み時間や放課後には、体を十分に動かすよう指導する。 ② 学習の始めに、個人のめあてを考えさせることで目標を具体的に明確にし、その達成に向けてどのような練習をしていくか見通して学習するよう指導する。また、児童相互で学び合い技能を高めていく授業形態も取り入れていく。個人の技能差が出やすい団体種目では、協働して臨めるように、よりよい動きを参考にする習慣を付け、自他を認めさせていく。 ③ 学習カード等を用いて、個人やチームの振り返りを行う習慣を付けさせる。また、体力テストの結果も活用し、それらの中から課題を見付け、工夫して活動できるようにする。
検証	学習カードを活用して、個人やチームの振り返りを常に行ったことにより、これまでの活動を振り返りながら運動に取り組むとともに、自分や仲間の技能の向上に努められるようになってきた。友達の動きに関心をもたせることにより、よりよい動きについて知ることができ、友達に対しての励ましやアドバイスとなる声掛けができるようになってきた。